



## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ  
コード番号 6239 URL <https://www.nagaokajapan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600  
四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,565	4.3	167	△13.8	196	△7.2	125	△4.6
2022年6月期第1四半期	1,500	△10.1	194	△31.6	211	△29.5	131	△25.0

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 146百万円 (1.0%) 2022年6月期第1四半期 145百万円 (△42.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	17.81	—
2022年6月期第1四半期	18.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	7,789	4,975	63.9
2022年6月期	7,421	4,970	67.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 4,975百万円 2022年6月期 4,970百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	23.3	1,140	44.8	1,160	17.0	800	0.6	113.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	7,078,400株	2022年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	29,199株	2022年6月期	29,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	7,049,201株	2022年6月期1Q	7,049,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、経済活動の促進が期待される一方、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、急激な円安の進行と物価の上昇などにより、景気下振れが懸念される状況が続いています。

このような状況の下、当社グループでは、2022年6月期から3カ年を計画期間とする中期経営計画「FLIGHT PLAN: VISION 2024」のもと、「既存事業の深化・拡充」「戦略的パートナーとの連携」「新規市場参入」に取り組み、持続可能な成長を目指しております。

水関連事業では、国内において上水道や食品・農業に関連する分野の水処理を幅広く行い、海外においては、これまで積み重ねてきた実績を基盤として、当社の「取水」「水処理」技術をモデル化し展開することで事業拡大を推し進め、エネルギー関連事業と並ぶ収益基盤にすることを目指しております。また、2022年7月1日付で、関東圏で水処理に係る設備設計・工事を主力事業としている矢澤フェロマイト株式会社（以下「矢澤フェロマイト」という。）を子会社化し、収益基盤とすべく取り組んでおります。

エネルギー関連事業では、中国経済成長の鈍化、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等、様々な要因により、各社とも新規プラント設備投資には慎重になっております。この状況下、新規プラント建設計画に関する継続的な情報収集、既存プラントの更新需要に対する積極的な営業活動、顧客やプロセス・オーナーとの関係構築・深化に努め、受注機会を逸することがないよう取り組んでおります。また、安定的に収益を確保できる体制の構築とグループ生産体制の最適化の推進等によりコスト低減を図り、価格競争力を高め、受注機会の拡大と主力製品以外のマーケットの拡大、定期メンテナンスサービスの強化等を行うことを目指しております。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,565,888千円（前年同期比4.3%増）、営業利益167,318千円（前年同期比13.8%減）、経常利益196,449千円（前年同期比7.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益125,556千円（前年同期比4.6%減）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

#### ① 水関連事業

取水分野では、各地で進められている取水設備の老朽化や耐震化に伴う改修工事等により、取水スクリーンの需要は底堅く、堅調に推移しました。一方、連結子会社となった矢澤フェロマイトについては、会計年度末に官公庁向けの案件が集中していることから、当第1四半期連結累計期間の業績に寄与するには至っておりません。また、水処理分野では、材料費の急激な高騰により、採算が悪化する案件があったこと等から、売上高286,461千円（前年同期比83.2%増）、セグメント損失50,988千円（前年同期はセグメント損失13,882千円）となりました。

#### ② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業においては、中国経済成長の鈍化、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等、様々な要因により顧客各社とも新規設備投資には慎重になっております。当社グループとしては、新規プラント建設計画に関して継続的に情報収集に努めるとともに、既存プラントの更新需要に対して積極的な営業活動を展開し、受注獲得に取り組んでいます。これらの結果、売上高1,279,426千円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益333,919千円（前年同期比3.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は7,789,297千円となり、前連結会計年度末に比べ367,574千円増加しました。これは主に、現金及び預金が521,464千円、電子記録債権が237,678千円減少した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が727,512千円、仕掛品が296,693千円、土地が149,095千円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は2,813,398千円となり、前連結会計年度末に比べ361,837千円増加しました。これは主に、流動負債のその他が180,884千円減少した一方で、短期借入金が311,152千円、支払手形及び買掛金が113,774千円それぞれ増加したことによるものです。

純資産合計は4,975,899千円となり、前連結会計年度末に比べ5,737千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益125,556千円の計上があったものの、配当金140,984千円の支払いにより利益剰余金が15,427千円減少した一方で、為替換算調整勘定が21,756千円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2022年8月9日の「2022年6月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,118,522	1,597,057
受取手形、売掛金及び契約資産	2,444,062	3,171,575
電子記録債権	295,966	58,287
商品及び製品	11,547	8,918
仕掛品	42,120	338,814
原材料及び貯蔵品	501,931	387,989
その他	301,525	325,180
貸倒引当金	△3,445	△2,772
流動資産合計	5,712,229	5,885,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	758,969	767,989
機械装置及び運搬具（純額）	371,909	358,637
土地	—	149,095
リース資産（純額）	54,758	56,801
建設仮勘定	2,660	2,660
その他（純額）	70,299	66,033
有形固定資産合計	1,258,597	1,401,217
無形固定資産		
のれん	—	22,742
その他	352,004	344,115
無形固定資産合計	352,004	366,858
投資その他の資産		
繰延税金資産	27,830	34,130
その他	71,061	102,040
投資その他の資産合計	98,891	136,171
固定資産合計	1,709,493	1,904,246
資産合計	7,421,722	7,789,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	403,554	517,328
短期借入金	929,305	1,240,457
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	184,000	196,524
未払法人税等	160,453	108,515
賞与引当金	—	48,188
役員賞与引当金	—	21,250
その他	524,410	343,526
流動負債合計	2,201,724	2,485,789
固定負債		
社債	—	30,000
長期借入金	123,600	168,418
退職給付に係る負債	78,118	80,426
その他	48,118	48,764
固定負債合計	249,836	327,609
負債合計	2,451,561	2,813,398
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	785,195	785,195
利益剰余金	2,395,252	2,379,824
自己株式	△20,106	△20,106
株主資本合計	4,413,582	4,398,155
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△6,726	△7,318
為替換算調整勘定	563,305	585,062
その他の包括利益累計額合計	556,579	577,743
純資産合計	4,970,161	4,975,899
負債純資産合計	7,421,722	7,789,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,500,683	1,565,888
売上原価	987,055	1,061,995
売上総利益	513,627	503,892
販売費及び一般管理費	319,455	336,574
営業利益	194,171	167,318
営業外収益		
受取利息	1,550	831
為替差益	8,154	27,205
スクラップ売却益	8,397	5,757
補助金収入	4,144	5,674
その他	2,876	511
営業外収益合計	25,122	39,980
営業外費用		
支払利息	5,200	8,325
支払手数料	2,486	2,486
その他	20	36
営業外費用合計	7,706	10,848
経常利益	211,587	196,449
特別損失		
固定資産除却損	1,988	123
特別損失合計	1,988	123
税金等調整前四半期純利益	209,599	196,326
法人税、住民税及び事業税	53,820	60,572
法人税等調整額	24,221	10,197
法人税等合計	78,041	70,769
四半期純利益	131,558	125,556
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,558	125,556



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	131,558	125,556
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	699	△592
為替換算調整勘定	13,022	21,756
その他の包括利益合計	13,721	21,164
四半期包括利益	145,280	146,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,280	146,721

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,344,343	156,339	1,500,683	—	1,500,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,344,343	156,339	1,500,683	—	1,500,683
セグメント利益又は損失(△)	347,182	△13,882	333,299	△139,127	194,171

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△139,127千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,279,426	286,461	1,565,888	—	1,565,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,279,426	286,461	1,565,888	—	1,565,888
セグメント利益又は損失(△)	333,919	△50,988	282,930	△115,612	167,318

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△115,612千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水関連」セグメントにおいて、矢澤フェロマイト株式会社の株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。当該事象に伴うのれんの発生額は23,939千円であります。